

全建発第26～215号
平成26年11月14日

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 松田 芳夫

印省略

第610回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万2千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人であります。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、社会資本の維持管理、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第610回建設技術講習会では、都市行政、河川行政に共通する課題として、地域の活性化、官民連携、環境の保全や景観形成等を学ぶとともに、都市については、都市再生プロジェクト、中心市街地の地域活性化、官民連携によるまちづくり、市街地整備の推進、都市防災など、河川については、最新の河川行政施策、風水害対策、河川環境の保全と再生（水辺の未来創造）、地震・津波防災や土砂災害対策、などについての具体の取り組み事例や最新の施策及び最新の技術情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

全建発第25～257号

平成26年 1月22日

一般社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 田村 秀夫
(国土交通省大臣官房技術調査課長) 印省略

平成26年度建設技術講習会の活用について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

わが国においては、地震、津波、水害・土砂災害等の自然災害による被害が近年多発しており、南海トラフ地震、首都直下地震への対応等災害対策の重要性が高まっています。また既存のインフラにおいても急速に老朽化が進んでいること、また急速なグローバル化が進展しているなかで、国民の生命と財産を守り、経済の活性化を図るための、社会資本の整備・維持管理を着実に推進することが急務となっています。さらに交通網の発達や情報通信技術の進展、エネルギー情勢の変化等により人々の暮らしも多様化しているため、国土行政を進める上で国民生活に係る幅広い分野を所掌することも重要となっており、時代の要請に応えた施策を展開していくことが求められています。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応じていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

一般社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成26年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会の積極的なご活用についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫 印省略

第610回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成27年1月21日（水）～23日（金）、津市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、都市行政、河川行政に共通する課題として、地域の活性化、官民連携、環境の保全や景観形成等を学ぶとともに、都市については、都市再生プロジェクト、中心市街地の地域活性化、官民連携によるまちづくり、市街地整備の推進、都市防災など、河川については、最新の河川行政施策、風水害対策、河川環境の保全と再生（水辺の未来創造）、地震・津波防災や土砂災害対策、などについての具体の取り組み事例や最新の施策及び最新の技術情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は三重県（予定）の共催、国土交通省・津市（予定）の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：正会員・特別会員・賛助会員 …………… 12,900円
正会員（地元）〔開催県内に勤務の正会員〕 ……… 2,000円
非会員 …………… 17,900円
※昼食の斡旋はありません ※聴講のみの参加は可能です
※正会員（地元）は割引価格のためキャンセルはできません

③現場研修料：8,200円〔うち昼食代1,200円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「610」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成26年12月24日（水）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成27年1月9日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成27年1月16日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

第610回建設技術講習会(都市行政の課題・河川行政の課題)日程

～持続可能で活力ある国土・地域づくりに向けて(都市行政、河川行政における施策の展開と技術情報)～

一都市行政、河川行政に共通する課題として、地域の活性化、官民連携、環境の保全や景観形成等を学ぶとともに、都市については、都市再生プロジェクト、中心市街地の地域活性化、官民連携によるまちづくり、市街地整備の推進、都市防災など、河川については、最新の河川行政施策、風水害対策、河川環境の保全と再生(水辺の未来創造)、地震・津波防災や土砂災害対策、などについての具体的な取り組み事例や最新の施策及び最新の技術情報を得るものとする。

会場 ……【合同/2日】都市】総合文化センター(多目的ホール)
 【2日】河川】 ” (小ホール)
 〒514-0061 津市一身田上津部田1234 ☎059-233-1111(代)

(1日目)	平成27年1月21日(水)【合同】多目的ホール	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	三重県知事 津市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	鈴木 英 敬 前 葉 泰 幸 中 嶋 章 雅
13:00 } 住民参加型社会基盤整備による地域のマネジメント 14:00	京都府立大学大学院生命科学研究所 教授	宗 田 好 史
14:10 } 景観まちづくりの実践 15:10 ~景観行政の成果・課題・展望~	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授	浅 野 聡
15:20 } 【特別講演】 16:20 おかげ横丁の町づくりの考え方	三重県景観コーディネーター (有)伊勢福 代表取締役社長)	橋 川 史 宏
16:30 } 【地域事業の紹介①】 17:00 宮川床上浸水対策特別緊急事業について	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 工務第一課長	長 澤 宏 和
17:00 } 【地域事業の紹介②】 17:30 近鉄川原町駅周辺整備事業(鉄道連続立体化事業)について	三重県四日市建設事務所 プロジェクト推進室長	西 澤 浩
(2日目)	1月22日(木)【都市部門】多目的ホール	(敬称略)
9:40 } 都市再生特別措置法改正について 10:40	国土交通省都市局都市計画課 課長補佐	宮 崎 貴 雄
10:50 } 地域交通とまちづくりについて 11:50	国土交通省都市局街路交通施設課 街路事業調整官	服 部 卓 也
13:00 } 都市再生に関する支援措置について 14:00	国土交通省都市局市街地整備課 課長補佐	吉 澤 勇 一 郎
14:10 } 官民連携によるまちづくり 15:10	国土交通省都市局まちづくり推進課 官民連携推進室 課長補佐	尾 上 佑 介
15:10 } 閉会のあいさつ	三重県建設技術協会長 (三重県県土整備部副部长)	水 谷 優 兆
(2日目)	1月22日(木)【河川部門】小ホール	(敬称略)
9:40 } 河川行政の最近の話題について 10:40	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 国際河川技術調整官	西 澤 賢 太 郎
10:50 } 水辺とまちの未来創造について 11:50	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川環境保全調整官	藤 井 政 人
13:00 } 最近の河川改修等について 14:00	国土交通省水管理・国土保全局治水課 企画専門官	青 野 正 志
14:10 } 河川管理の取り組みについて 15:10	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川保全企画室長	岩 田 美 幸
15:10 } 閉会のあいさつ	三重県建設技術協会副会長 (三重県県土整備部公共事業運営課長)	加 藤 芳 弥
(3日目)	1月23日(金)【現場研修】	

J R津駅東口 三重交通バス駐車場(8:30) 出発
 → 景観まちづくりプロジェクト事業「外宮前地区」(下車説明) → 宮川床上浸水対策特別緊急事業(下車説明)
 → 昼食(亀山市内) → 近鉄川原町駅周辺整備事業(連続立体交差事業等)(下車説明)
 → 近鉄四日市駅(15:25) / J R四日市駅(15:40) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
 ※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第610回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には津市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328

〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (J F Aハウス5階) 「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
 取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成27年1月20日(火), 21日(水), 22日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルグリーンパーク津	津市羽所町700 Tel.059-213-2111	シングル	30名	8,880円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



2会場となりますので、聴講者別の欄は
お間違えのないよう記入願います。

平成26年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名、会社名)

第610回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別				現場 研修	宿泊予約		
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○をつけて下さい)	年齢		正会員		一般 (非会員)			予約日に○を 記入して下さい		
			都 市	河 川	都 市	河 川		1月 20日	21日	22日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料							現場研修 の昼食は 不要の申 し出はでき ません※	宿泊代金は、 ホテルチェックイン時に全額お支 払ください。 禁煙・喫煙の希 望がある場合に は、 “○禁”、“○喫” のように記入して ください。		
正会員・特別会員・賛助会員		名 × 12,900円 =		円						
正会員(地元)		名 × 2,000円 =		円						
※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員」(賛助会員除く)										
非会員		名 × 17,900円 =		円						
現場研修料		名 × 8,200円 =		円						
計				円						

↓全建に振込

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。